

# 2月 えーる油山ニュース



2020年2月発行 第42号

多機能型障がい福祉サービス事業所 えーる油山  
(管理者 小関正利・発行者 中野梨紗)  
福岡市城南区東油山1丁目6-39  
TEL 092-834-8900 / FAX 092-834-8910  
E-mail: e-ru@sage.ocn.ne.jp  
<https://www.facebook.com/ashinoie/>



## 施設長トーク 求められているBCP (事業継続計画)

最近、大規模自然災害が多発する中、企業や自治体などが非常事態に遭遇したとき、業務を続けるために必要な態勢や手順をまとめた計画がBCP (ビジネス・コンティニュイティー・プラン) と呼ばれている。これは、避難など災害発生時の応急対策を定める防災計画に対し、優先して再開する業務、従業員らとの連絡方法など本格復旧までの段取りをあらかじめ定めることを主眼とする計画である。私ども社会福祉法人に於いても災害時に3日間程度で事業が再開できるように事前計画を立てることが求められている。2011年の東日本大震災を機に注目を浴び、BCP策定が進められている。新聞報道によると国は、障がい者や高齢者など支援が必要で、避難所に行くのが難しい人について、市町村にあらかじめ名簿を作成するよう義務付けている。その名簿を基に町内会関係者や民生委員が一人ひとりの自宅を訪れ、避難時の困り事を聞き、被災時には誰が手助けし、どこに避難するという計画を、個別にしておくことが望まれるとしている。個人情報の問題があると思われるが、名簿に名前を載せてよいと同意する人は、5割弱だそうだ。社会福祉法人として被災時にどうしたら業務が続けられるのか、避難所となれるか、食料備蓄や水、電源、職員などの人手の確保、・・・事前に検討し、地域まるごとの事前検討が必要となろう。つまり、障がい者、高齢者、全ての地域住民の横のつながり、地域コミュニティの構築が必要で今からでも遅くない。死語に近い「向こう三軒両隣」・・・自分の家の向かい側にある三軒の家と、左右二軒の隣家が日頃親しく交際している近隣であるという発想が今、必要と捉えている。

多機能型障がい福祉サービス事業所 えーる油山施設長 小関 正利

## 仲間ちゃんねる

1月11日に葦の家で成人を祝う会が開かれました！今年度、えーる油山では稲田蒼一さんが成人になられています。びしっとスーツで決めて、カッコいい大人に大変身！緊張していましたが、来賓の方の話に耳を傾けていました。  
(支援員: 藤吉)



## まごころ製品大規模販売会

1月15日～1月19日、福岡三越様にて、まごころ製品大規模販売会が開催され、えーる油山も出店させていただきました。おかげ様で売れ行きがよく、昨年よりも売り上げがよい状況でした。ご来場していただいた皆様、ありがとうございました。



### ご紹介

#### ☆新しい仲間の方☆

ひろき  
～中村 熙生 さん～

1月より新しく入所されています。  
皆さん、宜しくお願いします！

#### ☆新しい送迎員さん☆

～森 和則 さん～

頑張ります！宜しくお願いします！

## 2月の予定

- |        |              |
|--------|--------------|
| 6日(木)  | ハローデイ春日店バザー  |
| 8日(土)  | ふれあいバザー      |
| 18日(火) | ハローデイ橋本店バザー  |
| 20日(木) | ハローデイ周船寺店バザー |
| 23日(日) | 法人実践研究発表会    |
| 27日(木) | ボンラバス薬院店バザー  |

※バザーの日程は変更となる可能性があります。

